

世田谷区における思春期世代等に対する こころとからだのアンケート調査報告書 概要版

この報告書は、令和3年9月に世田谷区が実施した『世田谷区における思春期世代等に対するこころとからだのアンケート調査』の報告書の概要版です。

令和3年3月

世田谷区

調査の目的

区では、「区民が生涯にわたり健やかで心豊かに暮らすことができる地域社会の実現」をめざし、『健康せたがやプラン（第二次）後期』（平成 29 年度～33 年度）のもとで、様々な健康づくり施策を展開している。本調査は、現行のせたがやプランが令和 3 年度に終了することに伴い、次期プランの策定に向けた基礎資料を得ることを目的として実施した。

調査対象

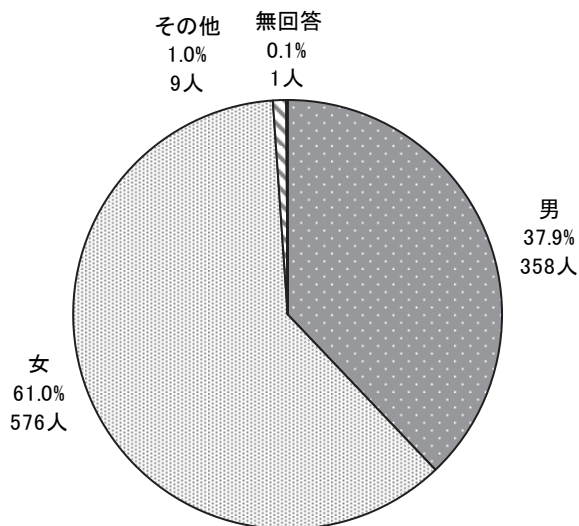
調査対象：区内在住の 15 歳以上 29 以下の
男女 3,000 人を無作為に抽出
調査期間：令和 2 年 9 月 17 日から令和 2 年 10 月 5 日
抽出方法：郵送による配布・回収
またはインターネットによる回答

回収状況

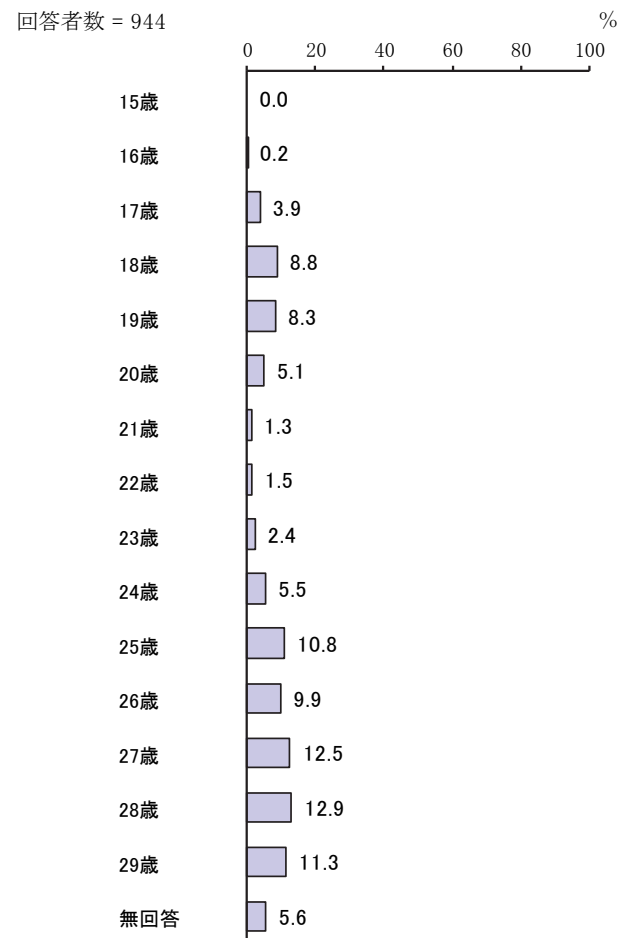
配布数（人）	3,000
回収数（人）	944
有効回収数（人）	944
有効回収率（%）	31.5

回答者属性

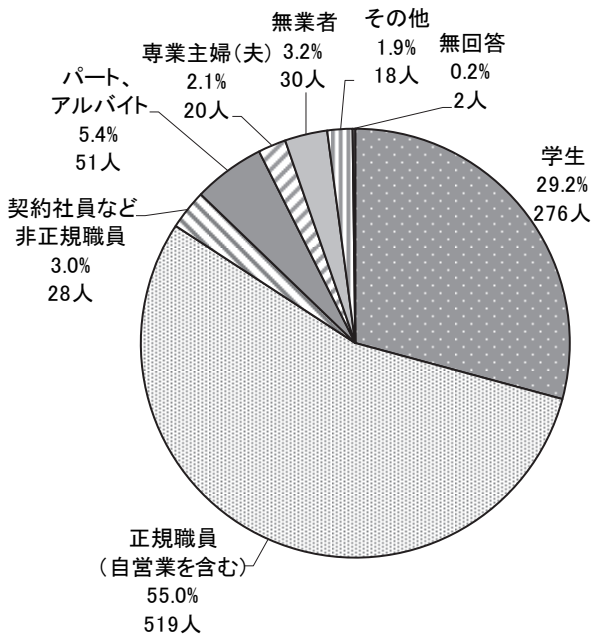
【性別】



【年齢】

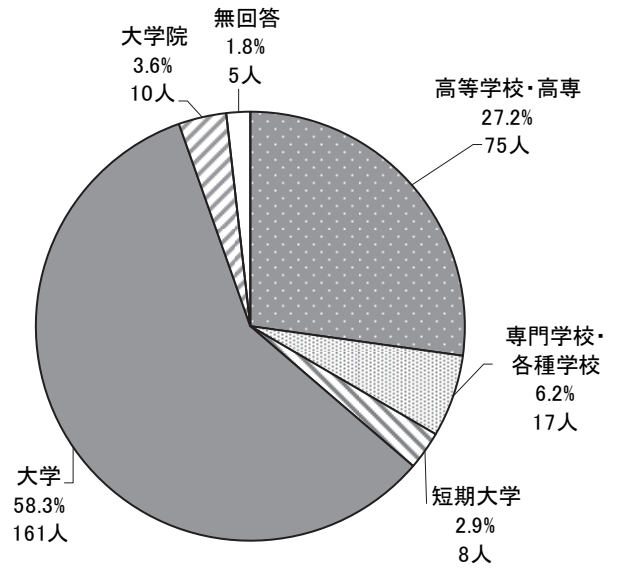


【職業】



有効回答数：944件

【在学している学校】



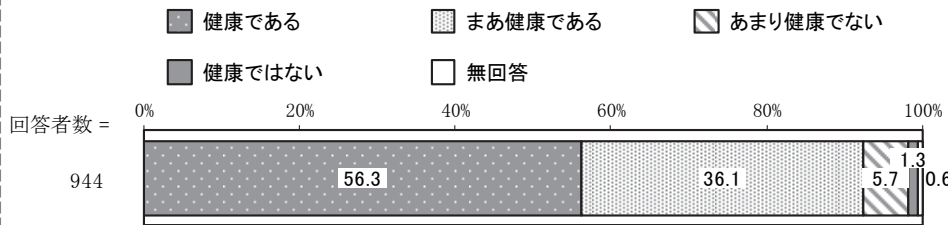
有効回答数：944件

概要版の見方

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

1 健康状態や意識について

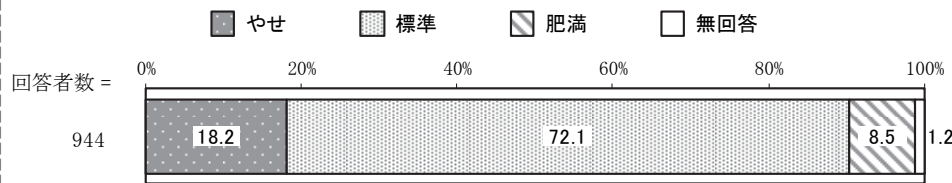
(1) 健康観



自分の健康観については「健康であると思う人」は92.4%、「健康でないと思う人」は7.0%となっている。

※「健康であると思う人」は、「健康である」と「まあ健康である」の合計
「健康でないと思う人」は、「あまり健康でない」と「健康ではない」の合計

(2) BMI

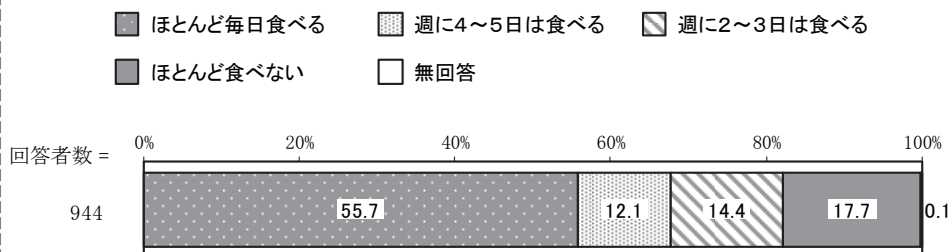


BMIの値については、「標準」72.1%が最も高く、次いで「やせ」18.2%、「肥満」8.5%となっている。

《BMIとは》

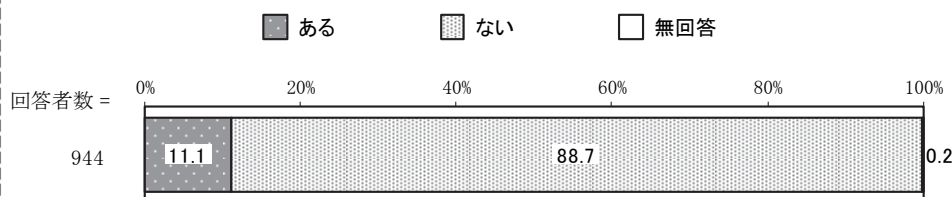
身長と体重から求める体格指標のひとつで、体重 (kg) を身長 (m) の二乗した数値で除して算出する。

(4) 朝食の摂取状況



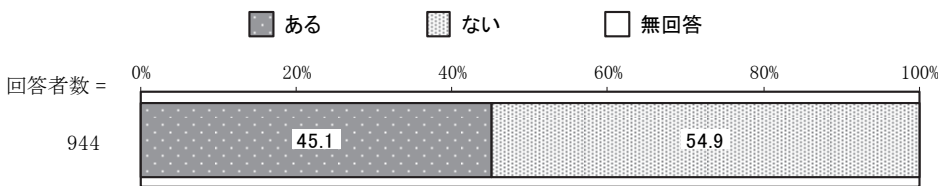
朝食の摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」55.7%が最も高く、次いで「ほとんど食べない」17.7%、「週に2~3日は食べる」14.4%となっている。

(6) 喫煙の経験



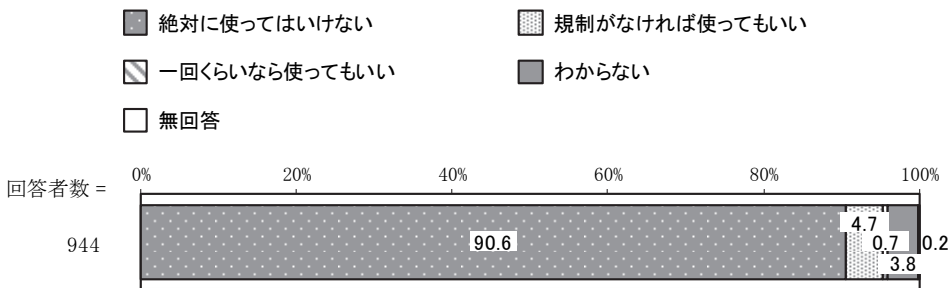
喫煙の経験については、「ある」が11.1%、「ない」が88.7%となっている。

(7) 飲酒の経験



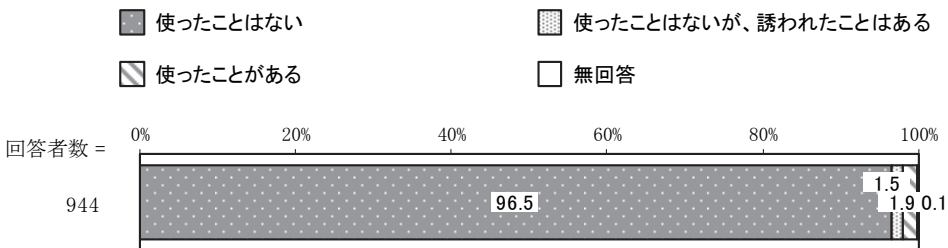
飲酒の経験については、「あり」が45.1%、「ない」が54.9%となっている。

(8) 薬物使用への意識



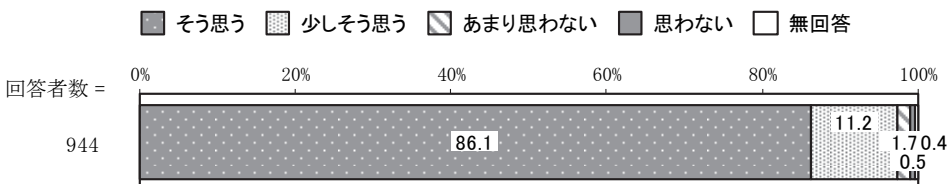
薬物使用への意識については、「絶対に使ってはいけない」90.6%が最も高く、次いで「規制がなければ使ってもいい」4.7%、「わからない」3.8%となっている。

(9) 薬物使用の経験や使用を誘われた経験



薬物使用の経験や使用を誘われた経験については、「使ったことはない」96.5%が最も高く、次いで「使ったことがある」1.9%、「使ったことはないが、誘われたことはある」1.5%となっている。

(10) 自分の体や健康を大切にする意識

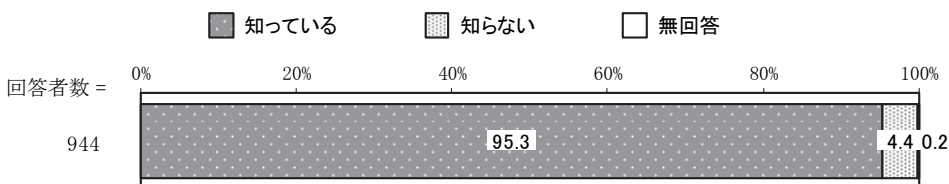


自分の体や健康を大切にする意識については、「大切にしたいと思う人」が97.3%、「大切にしたいと思わない人」が2.2%となっている。

※「大切にしたいと思う人」は、「そう思う」と「少しそう思う」の合計
 「大切にしたいと思わない人」は、「あまりそう思わない」と「思わない」の合計

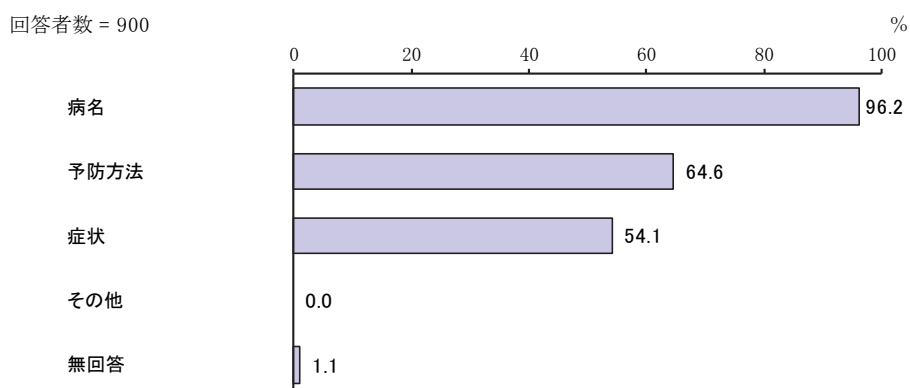
2 性感染症や妊娠等について

(1) 性感染症の認知度



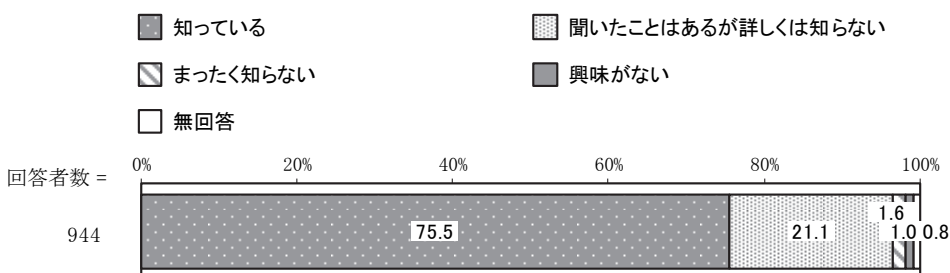
性感染症の認知度については、「知っている」が95.3%、「知らない」が4.4%となっている。

(2) 性感染症の知識（性感染症を知っている人のみ）



性感染症の知識については、「病名」96.2%が最も高く、次いで「予防方法」64.6%、「症状」54.1%となっている。

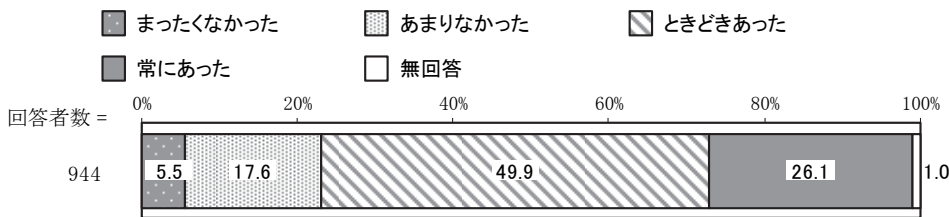
(5) がんは定期的に健診を受けて早期に発見すれば、生存率が高まる病気だということの認知度



保健所での無料・匿名検査の認知度については、「知っている」が41.0%、「知らない」が58.8%となっている。

3 こころの健康について

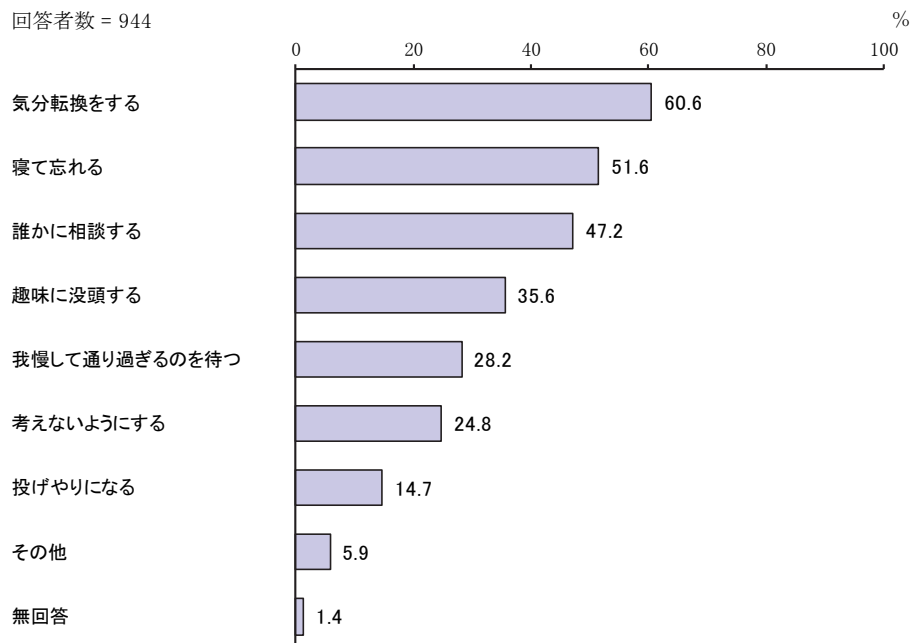
(1) 悩みや不安、ストレスの有無



悩みや不安、ストレスの有無については、「なかった人」は23.1%、「あった人」は76.0%となっている。

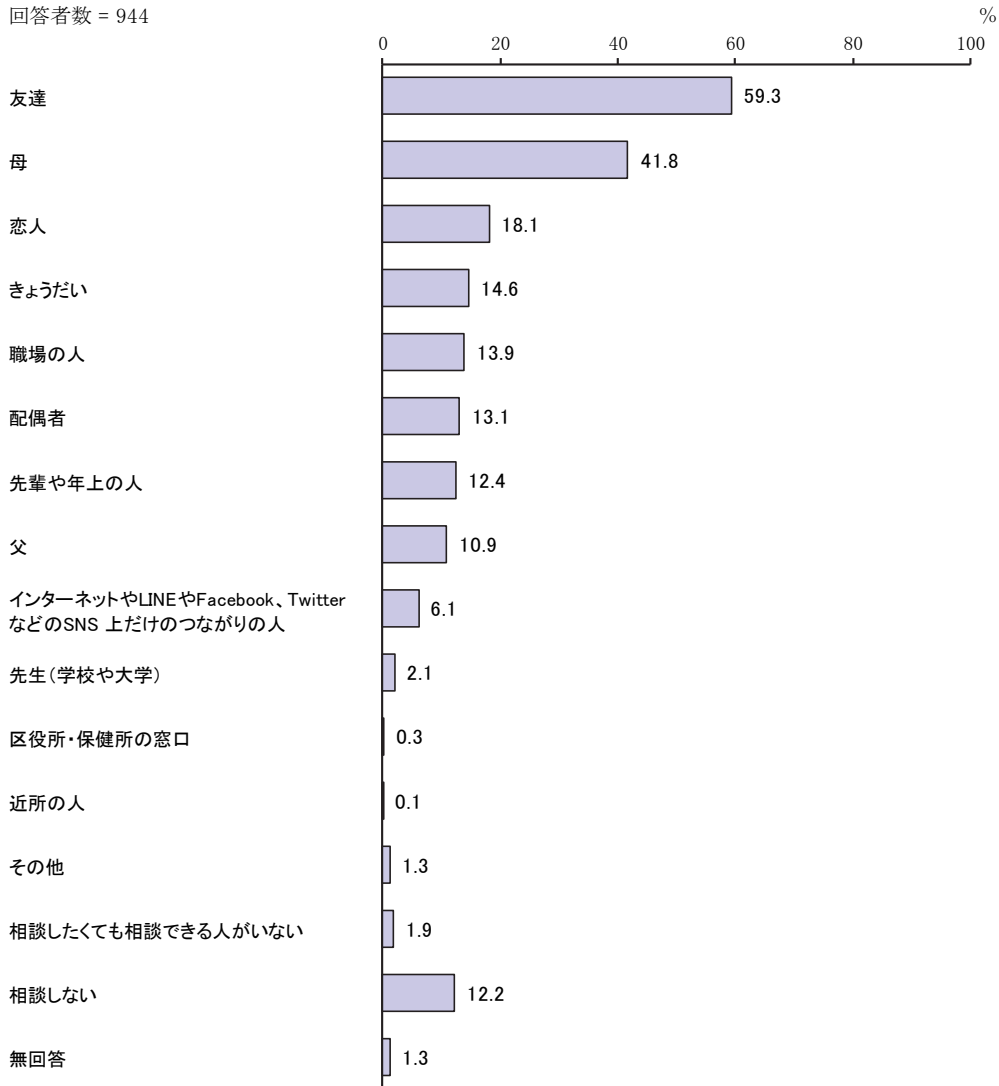
※「なかった人」は、「まったくなかった」と「あまりなかった」の合計
「あった人」は、「ときどきあった」と「常にあった」の合計

(2) 悩みや不安、ストレスを感じたときにとる行動



悩みや不安、ストレスを感じたときにとる行動については、「気分転換をする」60.6%が最も高く、次いで「寝て忘れる」51.6%、「誰かに相談する」47.2%となっている。

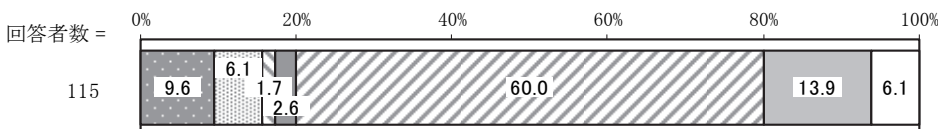
(3) 相談相手



相談相手については、「友達」59.3%が最も高く、次いで「母」41.8%、「恋人」18.1%となっている。

(4) 誰にも相談しない理由（悩みを相談しない人のみ）

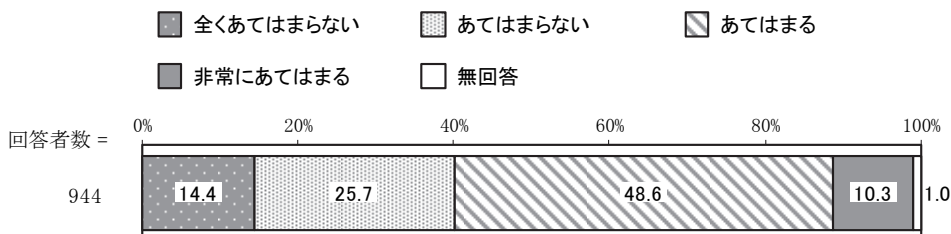
- 相談したいが、遠慮してできないから
- 相談したいが、恥ずかしくてできないから
- ▨ 相談したいが、相談先がわからないから
- かつて相談したときに不快な思いをしたから
- ▨ 相談しても何も変わらないと思うから
- その他
- 無回答



誰にも相談しない理由については、「相談しても何も変わらないと思うから」60%が最も高く、次いで「相談したいが、遠慮してできないから」9.6%、「相談したいが、恥ずかしくてできないから」6.1%となっている。

4 インターネットの利用や新型コロナウイルスについて

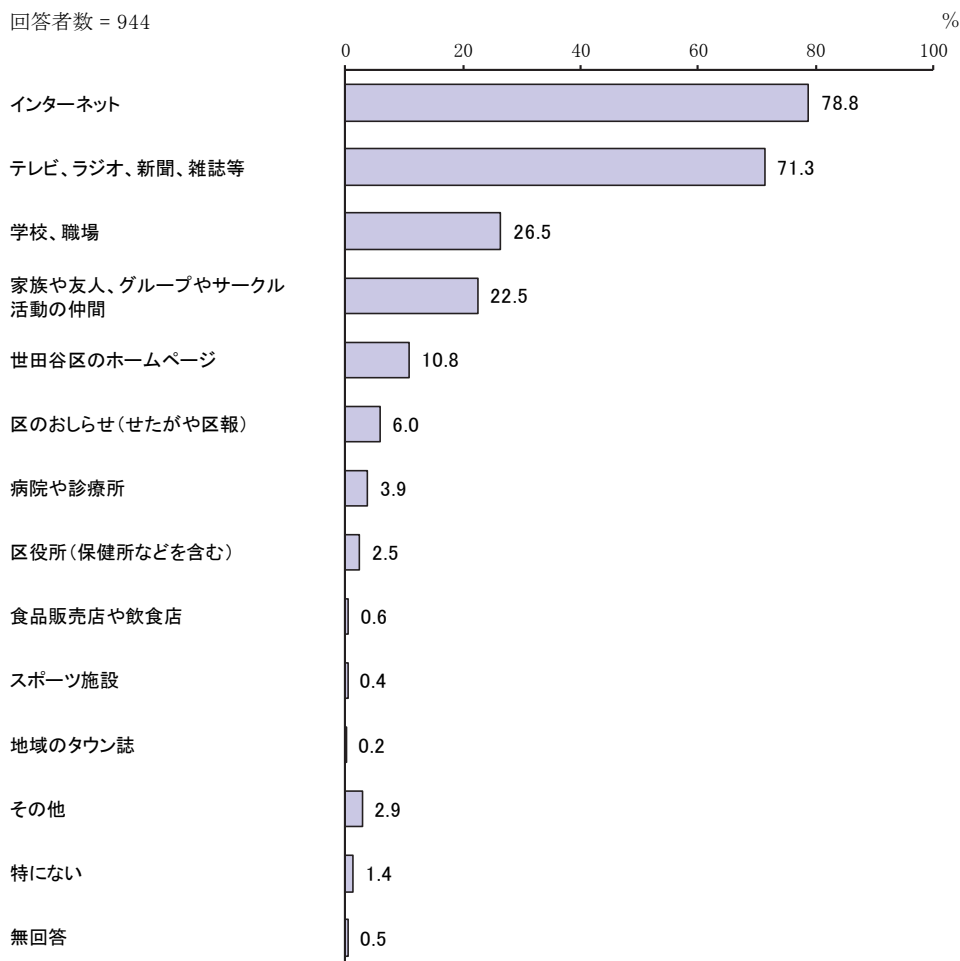
(1) インターネットをし始めると、なかなか終了できない



インターネットをし始めるとなかなか終了できないに「あてはまらない人」が40.1%、「あてはまる人」が58.9%となっている。

※「あてはまらない人」は、「全くあてはまらない」と「あてはまらない」の合計
 「あてはまる人」は、「あてはまる」と「非常にあてはまる」の合計

(2) 新型コロナウイルスについての情報の入手方法・手段



新型コロナウイルスについての情報の入手方法・手段については、「インターネット」78.8%が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」71.3%、「学校、職場」26.5%となっている。

世田谷区における思春期世代等に対するこころとからだのアンケート調査報告書 概要版

令和3年3月発行

発行：世田谷区

編集：世田谷保健所健康企画課

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-22-35

TEL 03 (5432) 2432

FAX 03 (5432) 3022

広報印刷物登録番号：No. 1931